



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾が投下されたときの様子をくわしく説明いただきありがとうございます。私は、原子爆弾が日本に投下されたときの様子などはあまり聞く機会がなく、特別授業を受けて話を聞いたときはとてもくわておどろきました。だからといって戦争があった現実には目をそむけないようにしようと思いました。私が知らないことも多かったので貴重な話を聞けてよかったなと思いました。特に私は川や井戸の水が蒸発してなくなったことにおどろきました。水がいっしょんで蒸発してしまうほど熱い場所にもい自分がいたらと考えると苦くてたまらないんだなと思いました。その中であきらめずに助けを求めた人をすごいと思いました。兵隊の人たちはにげださずにたのまれた任務をこなしていたことがすごいなと思います。人の皮膚がとけてしまうことは知っていたのですが、赤くもなってしまうことは知らなかったので知れてよかったなと思います。京都に原子爆弾を落とすとしていたがお寺なども多くあることを理由に落とすのをやめたことにおどろきました。このような話はあまり聞けないので聞ける機会があればなるべく聞こうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

まだとても貴張ておいて大事なお話をしていた
だき勉強になりました。これを通し、僕は原爆
の恐しさを体験談を聞くことで、改めて
実感しました。一番おどろいたのは、原爆の
強さで熱線、衝撃波、放射線とそれを
取っても自分の予想と大きくはずれていました。
それに、義三さんの体験談も9日間のお話を
聞き、聞いているときは原爆に対する怒り
と、広島に対する悲しみがすごく感じられました。
今でも自分が広島に居たときについて、原爆を
体験したと想像するだけで涙と怒りが止
まいません。でもその感じを考えられる機会
であつたのはとても良かったです。これからは
僕もこの原爆、核三サイル、戦争による
被害をなくすための感心を持ち、これから
も考えていこうと感じました。世界には80億人
いるため、お互い意見で対立することはありま
すが、そういうときこそ言葉で仲良くしようと、心から
思いました。本当に貴張な授業ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受けて、知っていたよりも何倍もおそろしかったことを知り、ぞっとしました。でも、原爆の被害にあった人はそんな怖い事ではないことが分かりました。先生のお父さんが、「きれいすぎる」と言っていたのはすごく印象的で、そんなものではなかったことが分かり、ものすごくこわくなりました。私かとりはただが立っくらこわくなったことが2つあります。1つ目は手などのひんがドロドロにどけ、手を前にして歩いていたということ。3000℃といわれてびっくりしましたが、あまりの熱さに想像がつきませんでした。2つ目は、「助けて…助けて…」という人たちは、もはや人間ではなかったという表現を聞き、体がどけて人間じゃなく見えるなんて、おそろしすぎると思いました。このように私は原爆先生の授業で、現実とは思えない、とてもおそろしいことがおきたことが分かりました。たった1つの原爆で、たくさんの方がとくなったことかかないです。人間は、このことをずっと伝えていかなきゃいけないと思いました。先生、本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を受けて少しわいところもあたけど、原爆のことをくわしく知れてよかたと思います。また、今度の自習学習でももくわしく調べてみたいと思います。

今回このような授業を受けて、日々なにがおこるか分からない中、私たちは生活しているんだなと、改めて実感し、1日1日を大切にしていきたいなと思いました。

思ったよりも、しっかりと集中して原爆についてのお話を聞いて、勉強になったのでよかたです。

学校の授業ではあまり勉強しないのが不思議なくらい原爆の大切さについて知りました。

今、ロシアとウクライナが戦争をしているのをよくニュースで見かけたり、聞いたりしているので、今とくがべあわせたりすることもできたのでとても分かりやすかたし。

戦争だけではなく、災害などのこわさも同様に知水たので、本当によかたと思います。

今回のお話で、こ水からに生かせることがあ水は生かしていきたくてす。おいそがしいなか機会を使てされて、お話をしていただき本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生のお話を聞いてみておそろしさを感じました。

「原爆」というものが、どこに落ちたのか、どのぐらいの人が

亡くなったのかのそのような数字が今まで知りなかった、そのほかは

知りうともしなかった私に貴重なお話をありがとうございます。

話の聞き初めは父義三さんの日記のお話から始まり

聞いている私達に大きなふきゅうをあたえてくれました。

実際の原爆がどのような様子だったのか、現場に行、た人にしか

わからないその景色、その恐怖を教えてくださいました。

ありがとうございます。

今は原爆のおそろしさの語り手が少ない、だからこの

今回のお話だったと思います。

私が原爆先生のように今後この話を語りついでいくかは

分かりませんが、おと今回のお話を忘れないでいたいです。

今回のお話の中で最も印象に残ったのは父義三さんと原爆

ドムに行った時のお話でした。「綺麗すぎる…」その一言が

今回のお話の点と点をあつびました。原爆のおそろしさ、

その生々しさを味あった者にしか言えない言葉で痛感しました。

「原爆」など、軽々しく言うたのではない、語るものではないと

分かりました。今後はお話の重みをしっかりと受けとめます。ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、原爆というのはたゞ人の人を苦しめた、おそろしいものだということ改めて実感しました。受講する前まではこれ、ものだとして原爆を知らなかったけれども、受講した後は、原爆が落とされた後の広島の人々を想像して、思ったよりもヒドいものだということを知り、おどろきました。広島にある原爆ドームはもともとは広島県産業奨励館だということを知り、原爆を落とされた前と後では全然ちがったような様子になっていて原爆がどれだけ強力なものかがとても伝わってきました。今でも原爆の悲しみで苦しんでいる人もいることも知り、もう一度と戦争はおこしてはならないものだとして強く感じました。池田先生の話をきくだけでも戦争のヒドいことが伝わってきたけれども、実際の戦争はもっと苦しいものだということも分かって、悲しい気持ちになりました。私はこの原爆のヒドいことを一生忘れないようにしていきたいです。貴重なお話をしてくださり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

先日は日野学園でお話をしてくださりありがとうございます。また、ぼくはお話を聞いて原爆というものはとてもおそろしいものだなと思いました。広島上空600mに7000℃という太陽以上の温度のものが爆発し、地面付近でも3000℃のとても熱い温度で川までモーターがーしゃんごりょうし、ほう発してしまいが黒くこげてしまうことにはとてもきょうがくしました。また、原爆投下後に被爆者の救助を進めた義三さんは本当にすごいなと思いました。原爆が投下されたときの音はとてもすごく、聞いただけでたおれそうになりました。それだけ強い力を持つ原子爆弾。そして戦争もう二度と起こしては行けないことだと強く実感しました。ぼくは実際に広島県の原爆ドームに行ったことがあります。影の部分だけがのこっている階段や真黒にこげた弁当箱、当時の写真などを見たことがあります。しかし最後に義三さんが話していたように、原子爆弾の非劇はもと強いものであり、非人なことだと分かった。なのでそのことを胸にもう一度行、て見てみたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12 / 2

1945年、8月6日、広島に落とされた一発の原子爆弾。この一発で起った悲惨な出来事について、とてもよくわかりました。義三氏が経馬侯した、たくさんのことは、信じたくはないけれど、日本で実際に本当におこったことであり、他にもたくさんの方が辛い思いをしたことだと思います。私は、広島、原爆ドームを見に行ったことがあります。ドームは柱がむき出しになっており、まるではいわゆるそのような建造物であったかのように感じられました。また、その後、原爆の資料館へ行こうとしましたが、私はこわく、見る勇気がありませんでした。また、実際に資料館に行った弟は、とてもこわい思いをして、途中で見るのをやめてしまったそうです。そんな資料館を見てもなか、手がいびける、と話す義三氏は、本当に大変な経験としてのだろうと、強く感じました。私には、そんなことできそうにもありません。今まで私は、学校の授業や本で、原爆について学んでいると思っていましたが、それはただの知識であったように感じます。原爆先生の話を聞くと、今までの知識と、その背景にある物語が、結びつきました。一つの歴史的な話として、また、身近な話ではならない話として、原爆は後世に伝えるべきであると思います。原爆先生は、爆発の音を声で表したり、話す口舌周を凍えたりして、とても私達はびっくりしたけれど、先生の伝えたいことは、その分よく伝わりました。貴重なお話を聞かせて下さり、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

最初の1分間のしずかな時間は考えさせられるものがありました。原爆は本当にあってはならないものということをおぼたためてじつがんしました。小学生のうちからこのような時間をもらえるのはすごくうれしいなと思いました。話の中の原爆がおとされたところに近づくにつれ全体にかけどをおた人が多くなりました。という言葉は信じられないくらいおぼたです。

流川を見た時は、自分の目を疑うほどのものでした。

元安川に行ったよしぞうさんは本当に死体を運ぶ作業は苦痛だったと心の底から思いました。

今回の授業を通して原爆について本当によく知れて、原爆はぜったいにおとしてはいけないうのが分かりました。今回は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて、「原爆」というものが多くの人の命をうば、たとえもおそろしいものだと思います。

原爆がおとされた当時、私達はまだ生まれていません。なので当時の様子などを目で確かめる事が出来ません。しかし、そんな私でも、話を聞いて、その時のじょうきょうが頭の中で想像することができます。それは、考えるだけで身がびるいしてしまうようなとてもおそろしい様子です。話を聞くまでは、ただ「原爆はおそろしくこわいもの」としかしらず、特に深く考えることはありませんでした。ですが、原爆先生の、当時広島におとされた原爆の種類や、原爆の特徴、おとされたときの様子などを聞いたことで、二度とおとされて、人々の多くの命がうばわれてはいけないう事だと思います。今、世界では戦争がおこっている国があります。もしも、そこで原爆がつかわれてしまったら再び多くの命がうばわれてしまうことになります。原爆先生の話を、今の世界情報と照らし合わせて考え、みることができました。原爆先生のように、当時のことを知らない世代の人に、原爆についておしえて、次の世代につなげていくことは、平和を願い伝えられる大切な事だと思います。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はとてもこわいことだと思いました。

いつ原爆が落とされるか分からない。また、どこに落とされるかも分からないから非難もできない。それだけ不安でこわくてしょうがないのだなとよく理解できました。

原爆が落とされた所の近くにいた人の体は、原爆のあまりの暑さに全身の水分がうばわれ、真赤になっていたり、原爆の暑さで皮ふや肉がとけて骨が見えてとてもこわい話でした。また原爆は6000°の太陽より1000°高い7000°であって、それが地面に落ちてくるので、とてもおそろしいなと思いました。

今は平和に過ごせているけれど、またいつ戦争が起こるか分からない。なので用心せねばならないなと思いました。原爆で5人に2人の確率で亡くなっていると聞いておそろしかたです。

今回、原爆について知れて良かったです。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話しを聞いて少し怖くなりました。当時のよしぞうが見たことや聞いたことを私たちはよしぞうが、いつ何をしていたのを知ることができました。また、原子爆弾単投下をする条件が、直径5kmを超えることなどの他二つの条件があることを知っておどろきました。候補になった都市が広島、小倉、長崎以外にも、横浜、新潟、京都にも原子爆弾投下を考えていたということを知りました。

広島に落とされた原爆の名前が「リトルボーイ」という名で、長さが3.12mで、重さが約4tもあったなんて知りませんでした。原爆が600mの時に、7000℃と、太陽の表面温度より高いなんてすごい暑さだったなと思いました。

原爆が落とされた後に、その被害を受けた人の体の皮がむけたのを聞いて、体が「ゾッ」としました。

私は、今回この原爆の話を聞いて、すっぴん勉強になりました。また、もうこの時代に戦争を起こしてはいけな
いと思いました。また、もうあのようなことが起こらないように一人一人が、優しさを持って行動することが大切だと思いました。原爆のことについて話してくれてありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

僕は、この授業が始まる前までは、自分には関係がなく、ただ矢口「おとこが大切だ」と思った。

だが、この授業が終るとこの90分間は、自分にとって忘れられない90分間であった。それは、今ではあり得ないようなことであった。僕は、この授業を受けて、このおなことは、にどとおきではならない。そのためは、これを忘れないように皆様に伝えていく必要があると考えた。また、僕は、この授業を受けて改めて、原爆のおそろしさを知りました。とくに印象に残ったのが、太陽(6000℃)よりも熱い(7000℃の)爆弾が上空9632mの高さから落ちてきたことが「心に残った」。そして、その爆弾は、水を一升んで「蒸気」を発生させて、おとろいた。とても熱くて苦しかったのだと思う。心臓が痛んだ。

僕は、原爆が落ちたあと、死たいを火燃やすことと、火を消す作業をしていた人たちも苦しかったのだと思う。

僕は、これらの経験を生かして、今後このおなことがあつたように、いろいろな人に教えて「きた」と思った。

今日は、本当に良いお話を聞かせてくれて、ありがとうございました。僕は、この経験を常に心にきりしめながら生きて「きた」と思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は原爆先生の話を読み、原爆のおそろしさを
知り、もう二度とくり返してはいけないと思いまし
た。7000℃の物体がおちてくるとき、すごく不安
になりました。なぜなら、太陽の表面温度でも、6000℃
なのに、それより1000℃高い物がおちてくると、人間が、
死んでしまうほどのあつたからです。考えてみると、
本当におそろしいです。また、原爆先生が教えてく
ださった、爆心地にほぼ近い袋町のところでは、
ほとんど原型を無くした路面電車があたり、
車両の周りには、内臓までも焼け焦げて小さく
縮んだ炭の塊だらけの人間があつたことなどの話し
を聞いて、本当に私たちは生きていられているだけで、とて
もとても幸せなんだと思いました。さらに、最後のよしぞ
うさんの話している動画を見て、命の尊さ、そして大切
さがわかりました。このようなことを知り、私たちは、もうこのよ
うなことにならないよう、未来を明るくしてけらいと思
いました。今回は、私たちに原爆のおそろしさや命の大
切さを教えてくれて本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日は、き重なお話ありがとうございました。

私は最初、「原爆」についてあまり知らなくて、原爆先生の特別授業を何も知らないまま受講しました。

でも、原爆先生の特別授業のお話を聞いているうちに、原爆で亡くなった人の数や、今もなお原爆に苦しめられている人もいるということが分かりました。

そのお話を聞いたとき本当に実際におきた出来事におもえませんでした。原爆のお話は、私の中ではとても、しょうげき的なお話でした。

暑いをこしていたい暑さの中、150m地点でも最後まで生きた人は、本当にきせきだと思いました。

原爆はとても、強い、破壊兵器だと思います。

原爆先生の特別授業を受講して、もう二度と原爆をおこしてはいけななと思いました。

実際に被爆された人が減ってきている今、私たちが後世につたえていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、この原爆先生の特別授業を受けて改めて戦争を簡単に起してならない。ふるえがとまらないくらいとしても、こわく、おそろしいものだと感じました。日本は原爆国で広島、長崎に落れた理由や条件がひどく、平和なところにあざと落ち、広島市では、死者14万人、広島市の人口35万人だから、死亡率40%で5人に2人。生そのびた人も後遺症が残って生きていても苦しんでいる人のことを想像したら、心が痛み、程悲しい出来事です。原爆で苦しめた三大きょうふ、熱風、衝撃波、放射線。熱風は先生のタイトル通りにスカイツリーの第二展望台のところまで来たのに地上のまであったのに3000度の熱が来たのおどろき、苦しうたなと思いました。衝撃波は先生の口でやった音より速く大きくしてやったと思うときょうふでいっぱいです。放射線の後遺症、原爆症が一番苦しく、今も苦しんでいる人がいます。なので戦争のきょうふは忘れず、この歴史を忘れないように覚え伝えていきたいと思います。伝えてもらいありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業をうけて、原爆のおそろしさがわかりました。一番、かんじょうに残ったのは、原爆のリトルボーイのじりよくです。リトルボーイが爆発して太陽よりも熱い7000もあるのがびっくりしました。また、原爆のくみが爆発したあと、どのような事がおきるのか、わかりました。またそれをうけた人は原爆病という病気にかかるともわかりました。最初は原爆のことはあまり知りませんでした。しかし、授業をうけるといろいろなことがわかりました。また、原爆病などで苦しんでいる人や最後のビデオに、おもわず泣きそうでした。このような大切なことを二度とまけたくないのので、これから一生大切にしたいと思、います。ほんとうに、ありがとうございました。



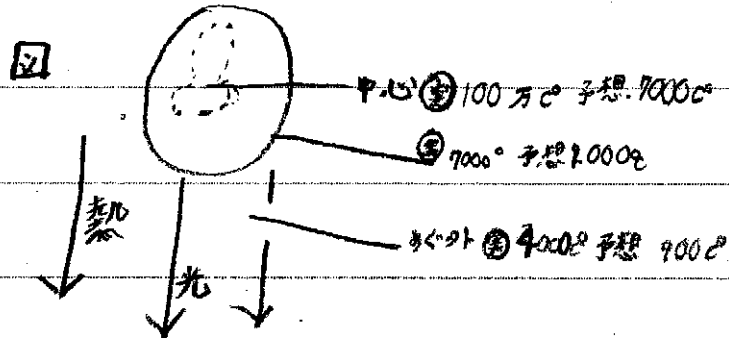
じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

7/5

僕は原爆先生のお話を聞いて原爆は人類の過去の代表作だと思いま
せしてひどくおどろいたものだと思いました。先生が原爆の恐ろしさを
話していたとき、その恐ろしさを身にしみて教わった貴重な時間だと思
います。



原爆の威力、温度は自分予想していたより大き上回っていた
こと、ここで助かろうと頑張った人が大勢いたこ
と、単純計算でも千人に一人が当ってくた、としま、て
いることを知りました。夫、話しているときの題名
『7000℃の少年』

の意味も分かりました。エノラ・ゲイ＝少年、7000℃
＝原爆温度であるのだ”と思えます。原爆はと
ても恐ろしいことをしりました。原爆先生、この原爆の
恐ろしさを教えていたのをありがとうございます
た。このことを僕も覚えて歴史を学びたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回のじゅぎょうでは、ぼくは、生まれた中で、一番原子爆弾のおそろしさが伝わりました。また、もう一度考えさせられました。原子爆弾は、広島や長崎以外にも、おとすこうげんがあつたことに、おどろきました。ぼくは、しんちか、目標地とほぼほぼは、ふんてい、ない正か、くまにあつておとされました。また、太陽が、こつあつたようおととも高い温度が、出たことに、おどろきました。死のげんいんか、とてもタタクあつたことは、しょうが、まじした。死七割が、40%という大まなすうじに、まじつきました。せつたいせつめいの中で、生きのこつて、いる人が、いたのは、とてもまじつて、いかに、なとこつにいる人だ、のは、いかに、いじつした。また、ぼくは、必ず、死たいし、りは、まじつた。ので、兵のやうきも、すこいとは、もいれたを、ちやう、たじか、んを、つから、て、いた、ま、あ、り、か、と、こ、ま、じ、つ、し、ま、した。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

（ま）くは、原火暴先生の特別授業を受講して、一番印象に残ったことは、1つのばくだんで14万人の人が死んでしまったことです。1つのばくだんでこれだけの人が死んでしまったことは、どうも戦争はおそろしいことだということを感じた。ばくだんのはんいは5kmだということ、5kmのはんいにはいた人は、亡くなってしまうか、身体にえいきょうをうけてしまうということだ。5kmもはなれていたら、みんなも大丈夫だと思ったと思う。たけと5kmまでも放射線がいなくなって、ほんとにおそろしいと思った。今もウクライナにロシアが攻めているが、原火暴先生の話を聞いて、ウクライナの人もすごくおそろしいと思っていると思う。原火暴は世界で二度とおちてほしくないと思うことが、より強く思うようになった。世界でもまた、ばくだんをたくさん作っている。世界でばくだんを作らないようにするには、世界が強さを争わず、ちょっとしたことで戦争をしなればばくだんも作られず、平和になると思った。あとは、武器も作らないこと、平和につながると思った。原火暴のほんとうのおそろしさを知ることができました。特別授業ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の特別な授業を受講して、言葉では表現も出来ないような出来事がおきたことを知り、ものすごく、こわく言葉で表わせないような感情がたくさと思おうかんで来れた。原爆がおとされたのはなぜ日本なのかと言った感情など、考えられないほどの体験者は痛みなど表せられないくぐいの苦しみを負って本当に悲しい出来事だと思いました。この出来事は、糸色文寸に必ず世界のどこかの国にも落とさないことが世界の平和に糸巻くと思えます。なぜ原爆や核爆弾などがこの世で作られてしまったのかと思ひ、この世で人間は一番の悪魔だと思いました。このまうなことが未来でも必ず起らないでほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の特別授業を受けて、おどろいたことが、たくさんありました。

その中でも、とくに おどろいたことが3つあります。1つ目は、原爆が、太陽くらい熱くて地面の温度でも、鉄がとける1500℃の倍の3000℃くらいあったということです。もし、太陽が、スカイツリーあたりの高さまでくると考えると、とてもおそろしいことだと思いました。2つ目は、原爆の爆発でおきた衝撃波の速さが、音よりも速いということです。音より速いということは、そうとう速いのでとてもおどろきました。3つ目は、爆発でおきたキノコ雲がせいそけんあたりまであがっていったことです。せいそけんは、とても高いところにあるので、そんなところまで雲かのぼるほどの大きな爆発だ、たんだなと思いました。

私は、原爆先生の特別授業を通して、原爆はそんなざいしてはいけないう物だと思いました。

また、戦争は、よくないことだと、より強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生のお話を聞いて「原子爆弾は恐ろしい」と改めて感じました。

元々、テレビで見たり授業で話を聞いたりして十分事実を知っていると思っていました。

ですが義三さんのように体験した人の話とは全然違いました。

途中で先生が原爆の音を再現したとき、ものすごくおどろきました。爆音でした。

それを知った時「これが本当に起きた事？これを義三さんは体験したの？」と思いました。

また、広島市人口の5人に2人が亡くなったと言われ、5人なに亡くなるくらいすごい威力なの！?と思いました。

原爆先生の話を聞いて「このような事があった」という事実をある程度しか知らない人に教えたかと思いました。悲しい出来事がもう二度と起こらないように全世界の人々にこの事実を伝えていきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆があることは知っていましたが、原爆先生が
受講して来たおかげで、過酷さが伝わって
きました。原爆はとっても悲しくてつらいけど
それにた方向かう姿を尊敬しました。
原爆先生のお父さんは、みんなのためにたてさ
し役に立っていて、思い出せば、とっても悲しく
て忘れないのに、私たちのために伝え
て来てありがとうございました。
私たちに伝えてくれた、倍こわいのが分かり
ました。これからは、と忘れないで
世の中の人にこの過酷さが苦しさが
伝われば、いいなと思いました。これは家に
帰っても忘れませんでした。そのくらい感動
したし、これからの将来や人生にかが
わってほしいなと思いました。
広島に、もっと勉強したい、学びたい
し、写真館でもっとかかくで下変だった
し、思い行きたい、と思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆について初めは、
広島に落とされた牛乳缶と覚えてい
たけど、本当は歴史上でもっとも悲し
いできごとだとしりました。日本人
とアメリカ人は、共に原爆の被害を
知っている国の人なので、原爆のおそろし
さを、教えて伝えるにはいけない
と、思いました。また、今ウクライナ
とロシアの争いで、原爆暴を利用
されて、多くの被害者を出しては、
いけないまた、原爆暴 そのものじたいが、
地球上にはあってはならないと思いました。
なにかの機会が広島に行くコ
トがあれば、いろいろ原爆に関係
する物を見て、世界に発信してリけ
たら、いいと思いました。
貴重な時間をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原火暴先生の授業を受講して思ったことは、地獄そのものだったと思います。広島県に原火暴が降ってきて、太陽の平面の温度をこえ、原火暴の方が1000°太陽に勝るなんておどろきました。原火暴の被害者の木幕開クを見て、生き残った人が「キレイすぎる」という発言を聞いて、原火暴は本当におそろしい物だったなあと感じました。このような広島県で起きた原火暴の事件を二度と起してはなないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆が恐ろしいことは知っていたけれど、改めて、原爆の恐ろしさを実感しました。全身を火傷をして、肌が赤くなっていたり、皮膚が垂れて、液体が出てしまったり、そうなっていた人がいると思うと、とても生々しくて、ゾッとしました。また、広島と長崎に原爆が落ちて、一瞬で建物がこわれ、一瞬で多くの人々が死に、一瞬で灰色の世界になってしまったことが、現在の平和な日本と比べて、想像できず、原爆の威力に驚きました。とても残酷で恐ろしい原爆が人の手によって、落とされて、広島と長崎のようなことが起きてほしくないと思いました。また、原爆のことについて話を聞いて、私達が毎日学校に行けて、毎日ご飯を食べれて、毎日を幸せに生きられることはとてもめぐまれていることだと実感しました。また、話を聞いただけでこわい思いをしたということは、原爆を体験した人は、もっとこわい思いをしたと思いました。日本は完璧に平和なわけじゃないけれど、世界も日本のような「平和主義」をかかげてほしいと思いました。また、世界に原爆や核などの兵器がなくなって、世界が戦争をしない、とても平和で、みんなが幸せに暮らせる国になる、ほしいと思いました。原爆のことについてもっと知りたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の授業を受けて、原爆のおそろしさが分かりました。時速300km以上の原爆が広島市に投下されたのを知るととてもびっくりしました。また、原爆がおとされて、被爆者や死者数が38万人もいて、かわいそうだと思いました。今も、原爆症にな、ている人がいるのを知て、おどろきました。原爆によて死んでしまった人たちは、まだ生きたいと思、ているのに、原爆を投下しようとしていた人はひどいと思いました。原爆がおとされなかったら、広島の人たちや長崎の人たちは、平和にあごしていたと思、います。これからは、原爆やきけんな武器が使あれないよ、うにな、てほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/5

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講したことによって原爆の恐ろしさを知ることができました。

原子爆弾によって24万人被爆し、そのうちの14万人が亡くなってしまったと聞いてとても怖くなりました。

原子爆弾の3000度の熱によって一瞬で亡くなった方、放射線で亡くなった方、放射線によって今も苦しんでいる方がたくさんいます。

この悲劇を忘れてはならないし、後世(こうせい)に伝えていかなければならない。また、唯一原子爆弾がおとされた国だからこそ、原爆の怖さや恐ろしさを海外に伝えていき、このようなことを二度とおこさないようにする必要があると思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて原爆のことは、どんな
感じだったのか、とても細かくは、知りませんでした。
話を聞けば聞くほど、おそろしさが伝わってきました。
聞いたことのない、大きな数字。太陽の1000℃も高い
7000℃が600mも近くに落ちたこと、アメリカの実験
で、こんなことが日本に実際に起きたなんて、今でも
信じられません。熱線、衝撃波、放射線。
1つだけでも、すごいスピードがあるのにどれか3つ
1つに、起きた。人間が、一瞬で黒いかげのツ
ミになることを聞いたとき、人間が、ツミになるなんて
聞いたことがない。外にいても、室内にいても、とてもお
そろしいことが分かりました。

私は、原爆ドームの、もとの広島県産業奨励館を写
真でも見たことがなく、初めて、今回写真を見た時、
こんなに、ドームの前に建物があつたなんて思いました。
原爆ドームの中で、電話局のコンクリート+地下の
トイレで無事と聞いて、本当に奇跡だと思いました。
もう、このようなことが一生起きてほしくな
いです。特別授業を受けて本当によかったと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/5

私は原爆先生の話を聞く前もこわいとは思っていましたが、先生の話を聞いた後は、とつもなくこわい出来事だと知りました。原爆先生が表現してくださったねっせんをうけた(原爆の)人々の様子を見てとりはたが止まりませんでした。また原爆ドームの外のかいだんにすわっていた人が真上でねっせんをくらって、その後黒いかげしが残っていないお話も、とてもとりはたが立ちました。今では実際にたいけんした人が少なくなっていますが、原爆のこわさを知ることが大切だと思います。うけつがなくてはいけないとも思いました。他にも、原爆でち人に2人がおせくなりになりましたことがしょうげきでした。

このことから、これからも世界でいつでも原爆などのかくへいきが使われないように何か小さいことでもできるようにしたいです。先生のお父様のビデオを見て、何十年前のことでもないほうほどのこと大きなひかいたとわかって私も、なみたて前が見えませんでした。先生の話を聞いた後は、原爆は自分が考えるよりこわいことが知れました。教えてくれてありがとうございます！





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

12/5

原爆先生のお話を聞いて、原爆というのはとても悲惨で残酷だと思いました。どうしてそう思ったかというと、被爆地に近づくにつれて、往きた被爆者が人間とは思えないほどの悲惨な姿をしていたことを知ったからです。原爆の恐ろしさを改めて知ること、戦争をするということは多くの罪のない人が、悲惨な死に方をし、何も良いことがないということが分かりました。原爆や核を使うこと、またそれを引き起こしかねない戦争などは、起きてはいけないことだと僕は思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

名前は裏面に記入してください

1
 ぼくは五月いけなかつたけどたけなれと
 てしるべでくんとんとけんぼくのひつんと
 がわかつた。けんぼくのあとに黒い
 雨が降っているのがこねさをひきた
 てていた。それにたえたけんぼくは
 のほおみはすこいとおもった。
 けんぼくのあとにたえたのはたけなれと
 ひろしきりいんてすが。さがすのまうが
 ながたか、のがひびくとおもいました。
 ぼくにけんぼくでなくなつた人は、14万人
 にむいひまうのは、ぼくとくにけんぼくは、こ
 ものたのたとおもった。けんぼくの
 まんいは2kmほどで2000mはたれても
 ひがいにあつたのはひどいとおもいました。
 けんぼくはうけなかつたけどしるべるきかけ
 できなかつたです。にとおきない
 てほしい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

小さい頃、一度原爆ドームに行つたことがあります。その時は“ホロホロだな”
 “ミトミトなことがあったのか”と、ぐらゐしか思わなく物心ついたばかりのことだったので
 母から話を聞いて恐くてあまり興味かわきませんでした。5年生になった時、
 改めて“広島・長崎原爆”という単語を聞き、勉強のためにしか使わな
 かったことを覚えています。そして今、原爆先生の話を聞いて、たった一発の
 弾で市のおよそ40%が亡くなり、市のおよそ70%が原爆により被害を受け
 いるということが分かりました。原爆の力は1.衝撃波 2.放射線
 3.熱線 のかにより、爆破するものであり、また人間はもろくて弱いかけが
 えのない小さい動物なのでこのような“不の世界遺産”と呼ばれるまでに
 なったと話聞いて思いました。もろく弱い小さいヒト一人一人に大事な家族が
 いる人間は戦争という理不尽なものによって壊れてしまう。皮膚が焼かれ
 近所では時には内臓の中の水分は太陽のような熱により一気に汽化して
 しまひ生きてゐる内には体験できないような苦しい状況。この状況を見て
 義三さんも思い出すと涙が出るほどで、私も先生の話をききながら理不尽さと
 人間のもろさに思ひ出す涙が出ました。途中の爆破の音を再現した先生の
 声も私はびびらなかつたけど実際ではもっと大きびびるどころか死に至るこ
 に聞いても悲しくなりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

12 /

今回、戦争について体験者の話を聞いて、悲惨な
ことをより深く学べた。正直話を聞くのもいやだった。
心がいなくなる。この前行った原爆ドーム。平和祈
念館。みにくさを語っていた。一番印象に残ったのは
「きれいすぎる。それは原爆から生き残った人であるから
こそその言葉だった。今回聞いた話の中に衝撃波
440m、7000°の暑さ、原火暴爆光の音。どれも想
像した。でも、きれいすぎる。音速の衝撃波など、体験
のしおろがない。7000°なんかなおせらだ。太陽
の付近よりも暑いなんて自分の体では体験でき
ない。爆光音は原火暴先生の声で表現し
ていた。でも本物とは格が違う。だからこのよう
な事は本当にあった。どれも予測できなかった
強さが「きれいすぎる。体験者しか言えない言葉だった。
平和のほうこそ、戦争のみにくさは、被爆国であ
る日本しか知らないような事実だ。さらにもっと知って
いるのは、被爆者だ。そのもっと知っている人の寿命
がせまっている。今、その人の気持ちをお綿に刻み、
広めていく。それが被爆者からの任務だと思ふ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆は、すごく恐ろしい物だと分かりました。
アメリカは、すごく大きな原爆をつくら、広島
島にほとしたことが分かりませんでした。でも
この授業を受けて広島の方は、家族もな
くしたり場所なくしたりしてすごく苦し
かったと思いました。アメリカは、長崎も同じ
ことをして広島と同じように苦しめたと思
いました。他にも皮がむけたり体全体にきず
があつてすごくいたそうでした。今思うと原爆
は、すごくこわくて、恐ろしいことだとまた思いま
した。自分がもし原爆の場所に行ったらす
ごくふるえていると思います。自分がこんなに
原爆でこわがるとしたらその時本当にいた
小学生が小学生より小さい、保育園生の気持ち
はとてもかわいそうだと思いました。
この授業を教えてくださいありがとうございます。
ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島での原爆はその時いた人にとってとてもこわい、苦しい経験だと知っていたけれど原爆先生のはなしを聞きこわい、苦しいことだけでなくいたい、さびしい思いもいっぱいあったことがわかりました。被爆者数も70%で焼かれていた人のひふ、や体の表現のしかたがとてもいんしょうにのこりました。自分はこの時に生まれていないけれど原爆先生のはなしでその人たちのさびしさがあったわりとても分かりやすく説明されていてすごいと思いました。原爆で家族をなくしてしまった人、おおけがになった人そして亡くなってしまった人には最後まで生きたいという気持ちがあったわりとても感動しました。原爆の後でも衣食住が焼かれて苦しむ人がいっぱいいたと思います。広島の日間のはなしには色々な思いがありとてもよく原爆のことがかかれています。日野学園に来てこの大事な歴史を教えてくれてありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

原爆について知って当時の苦しさが分かりました。当時と今では原爆について分かるものが少ないし本当の苦しきも分からないけれど過去に起きてしま。たんだなと実感しました。当時は、食べ物もなく自由に暮らすことができなかったのに今は自由に暮らし、原爆や空襲の跡はほとんどなくな。てしまいました。原爆が起こった日だけでなく、日ごろから戦争の苦しきや悲惨さについて考え、二度と起きないように願います。何万人の命が亡くなり、何の得にもならない戦争がまた引き起こされないように後世に語りついでいきます。

大切な人がこの世界から消えないように幸せな世の中になることが実現できますように。原爆の苦しきについて教えてくれてありがとうございます。原爆のことを忘れないように一日一日を大切にしながら生きていきたいと思。います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆について、仕組みや投下された経緯は少し知っていたけれど「悲惨という言葉では表現しきれないほど、こわくて、悲しくて、という複雑なものだ」とわかりました。実際に体験して、原爆のみにくさ、こわさ、悲しさを体中で味わった人、原爆で亡くなられた、戦争が終わっても原爆症で苦しんだ方々のリアルな実態を、体で、心で感じて、命の尊さを改めて、前よりずっと強く、実感しました。

きっと、その体験した話を聞いただけの私達には、原爆を経験した方の当時の気持ち、苦しみ、言葉では言いあらわせないような原爆に対する何かを、理解することは、できたつもりで出来ていないのだと思います。でも、原爆先生の特別授業を通して、私は、日本で起きた出来事が、他の国で起こればいけない、これで終わりにしなければならぬことを感じました。原爆先生、本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆について教えていただきありがとうございます
ございました。先生の話や映像、画像などを聞
いたり見たりして、改めて、とても悲惨なことで、二
度と起こしてはいけないことだと思いました。原
子爆弾が何日間にとわたり、落とされ、何人どの
人の命がうばわれたと知って、とても悲しくなり
ました。また、色々な建物と粉々にされて、今生
きている人の中にと、原爆症になって、家族がうば
われ、苦しんでいる人がいると知り、とても、悲しくな
りました。

なぜ日本だけ原子爆弾が落とされたのか、なぜ、
何と罪をおかしていない人達が殺されてしまったの
か、なぜそんな悲しいことができるのかと思いました。

実際に軍に入っていて、経験した人の話を聞いて、そ
の人は人が目の前で殺されているのを目にしているので、今
の世の中はとても平和でその時代に生まれたぼく
達はとても幸せなんだなと改めて思いました。
そして原爆はとてもおそろしいのだと改めて
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/2

3mもあり、4tもあるリトルボーイが、地上600mで爆発し、7000℃もの熱を出して、人々の生活をおびやかしたことが知られた。その爆発は、地上でも、3000℃という高温を放ち人々は、顔も、体も、くべつができないほどに焼けてしまった。太陽は、1億3000万kmも遠くにいても、このあつさなのに、これが600mの近さで大接近したら、ひとたまりもないだろうと思った。原爆は放射線だけでなく熱線、しょうげき波なども人間をおびやかすきょうきであることを知った。その中でもしょうげき波は、音速よりも早く、人間や建て物にぶつかり、くずしてくものであることを知った。熱線は、金針は1500℃でもうとけてしまい、それをほるかにこえる温度。地上では、3000℃内の外は7000℃の中心は10000℃となる。そして、放射線



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

1
2

名前は裏面に記入してください

は、原爆症^正と書いて、今でも、苦しんで
 いる人が、いることを知った。昔は、原
 爆ドームも、人々がたくさんいた活気
 ある場所だったのに、一瞬でその活気が
 消されてしまった。ぼくは、これを契り、
 もう二度と男女争^争をしてはいけないと心に
 ちかった。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

12/3

私は原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講できませんでした。友達に聞いたり、調べたりしてみました。原爆はとても悲惨なものだとは分かってはいたけれど、調べてみて改めて原爆がどんなものだったかを知りました。

日本は世界で初めて原爆が投下された国、被爆国。原爆による被害の特質は、大量破壊、無差別に殺りくが起きたこと、そして放射線による障害がその後も長期にわたり人々を苦しめたことだと言調べてみて知りました。

原爆によって死亡した人の数は現在でも正確には分かっていないことを知りました。とても辛いことだと思います。被害にあった家族や友達。たくさんの方がどうなったかも分からないのは、心苦しい人もたくさんいるのだらうなと思いました。また、原爆の爆風によってなされた人を見て、原爆によって一瞬で人生がなくなりやられたこともやりとげたのかなと思いました。だく悲惨なことだけれど、それを未来に伝え、なっていく人々にはとても大切なことだと思います。原爆についての考え、思いが、変わりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私は特別授業をうけて、とにかく色々なことを学びました。

長い9日間のつらい現実を知って、心かたてもいたみました。

でも、その広島原爆のことを知ったおかげで、こうしていきたい。という目標ができました。

最初、原爆がおちた時の音声を聞き、初めはびっくりしましたが

こんなにも悲しいこととは思ってがらす、多分、奥さんにはもっと

はげしい音かなりひびき、さけび声かたくさんの所からきこえ

たのではないかな、と思います。今奥さんに原爆にひかいた

うけた人、今でも苦しめられている人がいることも知りました。

その人たちをたすけてあげたい、という気持ちか、心から

こみあげてきます。原爆先生のお父様の話しをきき、新め

て、こんなにもつらく、悲しいこととはなからたな、と思います。

原爆の種類も学び、私か一番印象に残ったのは、「熱せ

」です。まさか太陽よりもあつい7000℃の球体が地上に近い

600mものきよりにあるなんて想像もできません。広島市の人口

か35万人の中、死亡率か40%。約2万人の人たちが一瞬

できえた、いなくなってしまう人たちがとつても悲惨です。

またまた書ききれませんが、1/3に話していたたいた物は

一生忘れません。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

報

私は、今日先生の話を聞いて、心内に平和にくらむのは、本当に恵まれていて、幸せな事なんだなと改めて思いました。

原子爆弾については少しだけ知っていて、
「い、おばあちゃんも長崎出身だったのよ」と少し教えてもらったこともありましたが、先生に話を聞いた
だいて、想像以上に大変だったことがわかりました。

その時生き残られた方の中には、後い症でなくなった人もいると考えると、とても苦しい気持ちになります。初めはとても普通の町だったのに、一瞬で焼け野原になり、人々も骨のみ、もしくは皮ふがはがれている状態を、もし糸ムがよしぞうさんの立場で「あのあたりにしたら、たえきれなくなりどこかであうすくまってしまう」と思っています。また、先生は今回思わず「かたかたびく」としてけうような音をいってくれました。でも実際はびく、とぼんてする、いまでもなく、すべてが一瞬にして消えさったと思うと、本当につらい気持ちになりました。なので、その体験した人の気持ちを受けついて、これから死別日を大々かにはしてまごそうと思ひました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

1945年8月6日、広島に原爆が落とされたことは、
事実として、覚えていました。でも私は原爆ドームに
も広島平和祈念館にも行ったことがなかったのので、
威力や実被害をよく知りませんでした。

お話を聞き、「衝撃波440m/s」「7000℃」という事実
は威力やそのおそろしさが伝わりました。また、
前半の義三さんの手記をもとにしたお話で、音声が流れ
たときは、正直怖いと思いました。でも後になって考え
ると、当時は「怖い」なんて生半可なものではなく、
命が一瞬にしていくつも幾万も消えてしまったのだ
という悲惨な現実なのだと思います。

そして今は「原爆ドーム」という名で世界遺産に
も登録されている建物は、資料17の広島県
産業奨励館というものだったと知り驚きました。そ
ろろ原爆投下までは「原爆ドーム」と呼ばれてい
たわけはないのですが、広島県産業奨励館という
名前を聞くと、生活感というか、人が普段使っていたという当
り前の事実も改めて突きつけられる感じがして、いっそう生々

しい現実で起こったことになったと実感させられました。こんなこと
は本来だけじゃなくて世界のどこでももう二度と起こしてはならないと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/5

原爆のことは知っていたし、どれだけ悲惨だったかも知っているつもりだったけれど原爆先生の話を聞いて私達では想像できないほど悲しく絶対に忘れてはいけない事件だったのだと強く思いました。原爆のせいで広島市の人口の約半の人が死亡してしまふということを知ったり、衝撃波の速さが音速よりも速い毎秒440mということも知れたが、あまりにも現実味がなくて正直おどろきもできませんでした。また2万人が一瞬のうちに亡くなったことを知り、どうしてアメリカ軍はこんなにも悲惨な核兵器を使ってしまったのだらうと思いました。日本は今はまだ唯一の被爆国であるけれど、また第二次世界大戦のような大きな戦争があったときこのような瞬で2万人が死亡してしまう原爆を2度と使わないために私たちが後世に戦争の悲惨さ核兵器の怖さを伝えていかなければいけないと思いました。今は義三さんのような被爆者の人たちが少なくなっていて実際に体験した人の話を聞ける機会が少なくなってしまい、このままだと未来の子供たちが戦争の虚しさや原爆を使うことの悲しさを知ってもらえないと思いました。この原爆先生の授業を聞いて何か特別な理由がなくても義三さんのような思いをする人がいなくなればよいなと思いました。原爆で亡くなった人の分まで長生きしようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12 / 5

7000℃の少缶という題名がしても恐ろしかったです。爆発した時の7000℃が太陽の表面温度より、1000℃も熱いのがとても印象的でした。また広島島の人口約4割が亡くなってしまったこと、とても想像できなく、すごい鳥肌が立ちました。義三さんが若いころに兵隊になったことがその時の日本の苦しさ、まずさをあらわしていると感じ、二度と繰り返してはいけなく強く感じました。さらに、最後の義三さんの動画、戦争について語っているところで泣いて話しているのに義三さんの強い思いがこもっていて、これからは僕達が戦争の恐ろしさを伝えていく必要があると感じました。もし、この戦争で亡くなった人が自分の家族や友達だったらと考えると、とても怖いです。今回のお話しは命の大切さについて考えさせられました。日本は唯一の被爆国これを日本は絶対わすれてはいけなく、これからも伝えていく必要があり、二度と繰り返さないことを深く心に刻み込むことができました。池田先生

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com
ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は表面に記入してください

本や塾で聞いたりはしてはありましたが被爆者の方の体験を元にしたお話を聞いて原爆やその後の被害の恐ろしさについて新たに
 めてしることができました。被爆者の方が実際に見た言葉や
 絵で表せたりするようなものと広島記念館にかざらているイメージとは
 かけはなれており、広島記念館の悲惨なイメージを超えてさらに
 悲惨なものだと聞くと本当に想像が出来ませんでした。これを聞く
 ことが長崎でおきているというのはとても衝撃的なことでした。
 私達は普通約30度で「暑い」と言いはじめますが3000度は
 それの100倍。私達が「暑い」と思うより100倍も暑い。あた
 ちし爆発によるさまざまな痛みが同時に襲い、それでも
 生きている人の苦しみはつらく悲しく、それでも生をようとする
 ところが私達と同じ人間なのだと思われ、それを聞く時
 にとても心が痛みました。今ウクライナとロシアが戦争
 をしています。日本は世界唯一の被爆国です。第二次
 世界大戦や太平洋戦争における悲劇を二度と繰り返
 さないように。日本に再び被爆国や核兵器による
 被害が出る国を増やさないように。悲惨な現状や
 戦争による苦しみを多くの人に伝えていきたいです。お話を
 していただきありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/13

私は、原爆先生の特別授業を受講して、改めて、戦争と原爆の怖さ、恐しさを感じました。そして、もうこの世で戦争はもう、一生してはいけないものだと思います。私が深く印象に残ったのは最後の広島記念資料館に行き、被爆再現人形を見た時に「きれいすぎる」と感じたことです。私はなぜ「きれいすぎる」と感じたのかを考えた。その再現人形が、義三さんが実際に見た被爆者か、傷を負っていないか、たがらでしうか？ 義三さんが見た、人間ではなかったというものは、再現人形が、再現できていなかったからでしうか？ いろいろな事を考えましたが、正解には、たどりつけなさそうです。そして、いろいろな事を考えているうちに、もし私がその場にいたら、どうなっていたのだろうかと考えました。私がもし被爆者で、皮膚がはがれ、体に木さなやけどを負っていたら、私はたがら、このまま生きるのには大変なので、いっそのこと死んでしまった方が楽だと思います。しかし、自分で死ぬ事もできず、ずとぐたがらして、そのまま、死んでしまうでしょう。私は池田先生の話を聞くがせり、戦争と原爆はとてつもないものだと思います。だから、もうこの世界で、戦争はやってはいけないものだと思います。そして、原子爆弾は、もっと落とすのはいいないものだと思います。原爆先生と違って、大切なお話をくださり、利がとがせつな



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/5

私は、原爆というのは、言葉でしか聞いたことがありませんでした。しかし、今回の池田先生のお話で、始めて知ることができました。私が一番、印象に残ったことは、助けを求めてくる人達が出てくるあたりです。先生のお話を聞いていると、想像するだけでも恐ろしく、涙が出てきました。また、流川の防水用水の桶に人が沈んでいたり、川に裸で人が死んでいたりすることを聞くと、それだけ、必死に、助かろうとしているにも関わらず、殺してしまう原爆の脅威を改めて感じさせられました。戦争もそうですが、住んでいる地域、生まれた地域はちがっても、みんな同じ人間です。そして、日本は唯一の被爆国です。きっと、外国や今の若い人は、原爆の恐ろしさを知りません。それを伝えていくのが私達の役割だと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の話聞いて、自分が今まで思ってきた原爆の怖さがさらに深まりました。なぜなら、原爆の被害にあつた人の中で皮ふがはがれてしまった人も多くいたということを知らなかつたからです。また、原爆が起きた時の爆音や爆風などの説明がとても分かりやすく、強く印象に残りました。そして、池田義三さんが、兵隊で原爆にあつて、その周辺をまわっている時の日々について、悲しい出来事の被害を受けている人々が多くいるのに、それでも指令に従っている義三さんはすごいなと思いました。これから原爆を未来に伝えていくためには、原爆にあつた人々がどのような被害にあつたのかということと、原爆が起きた後の建物の様子をしっかりと自分自身で把握をし、当時の動画を残していくことが重要になってくるなと思いました。こんなことをしたアメリカについては、とても怒りを覚え見直すべきであると思いました。最後に、熱線や衝撃波、放射線を生み出してしまう原爆は、投下したりつくり出したりすることは絶対にしてはならないので、原爆がなくなれば良いと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先生からもショッキングな内容と聞いていました。
ですが想像以上で少し怖かったです。話
の内容を想像するだけでも体がゾクゾクする
ようなというのでしょうか。鳥肌がたちました。広島
の模型。あれでも大分怖いのにそれでも「綺麗すぎる」と
いう言葉が出てくるほど。リアルは大変な事になってい
る人だと思うと、むねが苦しくなりました。私は、そ
のよきな、恐ろしい原子爆弾を作った人の、作
っている最中の脳内が気になります。そんな強力で
恐ろしいものを作っても、ただ「人が」亡くな
ってしまうだけだと思っただけからです。実際に亡く
なってしまった人は何万人といるので、そのときに
生きていられたのは、本当に奇跡的な人だなと思っ
ました。そして、その原子爆の被害を受けたのは、
広島だけでなく、長崎も。広島と長崎で都道府県
がちがうというのに、長崎に被害がきたのが、広
島でも分かるほど、威力が強いものだといっ
ことが分かりました。原子爆弾を作った人に、人をあ
げめたいという意志があったのか、知りたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この度は、貴重なお話をしていただき、ありがとうございました。
原爆がどれだけおそろしかったのか、そのお話を聞いていると、
自然と涙が出てきました。実際に被爆した方は、話を聞いているだけの
私たちよりも何倍も何倍も辛かっただろうというのは分かっていても、泣かず
にはられませんでした。特別授業の日の夜、私の母が子供の頃に、
戦争を体験した私のひいおじいちゃんに戦争について聞いたときの話をし
てくれました。「途中までは話してくれけれど、しばらくすると思い出さくない」と閉
口してしまった」と言っていました。その話を聞き私は、思い出さないと忘
れる、のは違うことだと気が付きました。「忘れる」というのは、この世
界からなかったことにしてしまうことだけれど、「思い出さない」というのは、
辛い体験をした人々が生きていくために必要な手段だったのだから
私は思うのです。それでも、義三さんは、その話を真徳さんに語りつぎ、
真徳さんは私達に話してくれました。

「原爆」という二発の爆弾が未来を夢見ていた何万人もの人の
人生を一瞬で消してしまった。この出来事は「忘れてはならないこと」
だと改めて感じました。

もう二度と核兵器が使われないうちに、日本が最後の被爆国となる
ように。このことを後世へと伝えていきたいと思ひます。
本当に、ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

池田先生の特別授業を受けて、原爆のおそろしさが分かりました。兵隊に助けを求めて、助けようと手を差しのべたらひふがおちてその光景を想像するだけでとてもこわくて原爆、戦争は起こればいけないことがこの授業で痛感しました。だから、私達はそれを伝える義務があることが分かりました。原爆で死んだ人が広島市の40%が死んでしまっていて自分が生きていても家族が死んでしまっている人もいると思うから、命はたった一つしかない大切な物だと思いました。原爆一つで14万にも死んでいっつも生活がなくなって友達も家族もいなくなって色々なくなって今につながっていて平和な日本になっていることが分かった。今の平和の日本には、たくさん人のぎせいがあって、だからこの原爆のこわさ、おそろしさを私達はそれをつなぐらなければならぬ、そういう義務があることが分かりました。絶対次の世代につながらなければいけないことが分かりました。



名前は表面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を聞いて、やはり最初に「原爆は恐しいものだと改めて感じました。原爆先生の授業では、実際に義三と上等兵たちが現場で、ただひたすら命令に従って一週間以上も広島です。その時の義三たちの心情などを声色を変えていて、より恐怖を感じました。

広島に投下された原子爆弾 リトルボーイは、投下目標地から200mずれた上空600mで爆発しました。リトルボーイが爆発した表面温度は約7000℃で、地面の温度は約3000℃でした。このとき、原爆先生が太陽の表面温度6000℃と一緒に説明していたので、より実感がわきました。原爆による死因は、熱線と衝撃波と放射線だそうです。原爆先生は、たくさんのお話を、使って説明していましたが、その中で「階段についての黒いかげの話が心に残りました。会社が開くのを待っていたサラリーマンがコンクリートの階段に座っている間に原子爆弾が投下され、黒い人型のかげが階段についてという話です。他にも、左足のふくらはぎをけがした女性の話が心に残りました。

人の命は尊いものだと思います。広島では、約5万人が一瞬間で死亡しました。この、人々が犯した過ちを二度とくり返さないために、この過ちを忘れないように、深く心に刻んでいきたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて広島でどういうことがあったかをよく知ることができました。原爆の影響によって色々な人が症状を出して苦しんでいたのが分かりました。

原爆の爆発の瞬間に落下付近では約 3000°C ～ 4000°C という高温の熱線が放出したのに驚きました。太陽の表面温度が約 6000°C で鉄が溶ける温度が約 1500°C なのでそう考えると異常なほどの熱さを感じられたんだなと思いました。その後の黒い雨でも推定死者数が約14万人と分かり爆発の圧力以外にも死亡理由がたくさんあり原爆についてより詳しく知ることができました。

戦争で広島に原爆が落ちて過去にあったことを今に教えてくれるのは大切なことだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

お話を聞き、あらためて原爆の恐しさを知りました。

当時の広島市の人口35万人に対して、被爆者数が24万人、死者数14万人、死亡率40%と被爆者数と死者数が高すぎると思っておどろきました。

また、死亡率40%これは5人に2人が亡くなっているところもおどろきました。

また、原爆によるやけどなどを分かりやすくいせつして、すごくこわいなと思いました。

話を聞いていただけで原爆が凄くこわいと思いました。

けれど、実際に原爆を受けた人たちは強制的に軍に入らされずとも、単に7月6日、原爆を受けたら生きてたとしても、後におかぬことたり、もし、死んでしまえば自分だけでなく、友だちや家族など全員がいっしょに死んでしまて何ものこらない。

こんなに沢山の人が亡くなり悲しむ戦争を二度と出さずにはいけないと思いました。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、池田先生の話を聞いて原爆のおそろし
しさについてがよくわかりました。池田
先生の話を聞き終わっても鳥肌がとまり
ませんでした。強く印象に残ったこと
は、原爆が落ちてきて産業奨励館(今の
原爆ドーム)の屋根がなくなるほどの
衝撃だったということです。他にも、原爆
が太陽よりも1000°も熱いことや大量
の放射線をあびて原爆症になること
もすべて強く印象に残っています。私の
お母さんやお父さん、おじいちゃんおばあ
ちゃんも広島に原爆が落ちてきたときには
生まれてはいないので話がよくわかりま
せんでしたが、池田先生の話を聞くとより
ゆい出来事がわかりました。話を聞いた
ただけでもおそろしいのに実際にその場
にいたらどんな気分なんだろうと思いまし
た。いそがしいのに私たちに時間を割いて
くださってありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回原爆先生に原子爆弾について
 教えていただいていろんなことを知れ
 ました。例えば原子爆弾は爆発し
 た時はとても大きな音と共に爆発して
 それで原子爆弾が爆発した中心の温度
 は1000,000℃もしたことがこれほど暑いのが
 想像できないし、しかもその周りも7,000℃
 もしていて太陽の表面温度よりも高いこと
 を知れて、太陽より暑いということはいさ
 い太陽が広島・長崎の上空に落とされ
 たのと同じだと思った。

原爆資料館に池田義三さんと池田
 先生がいてそこで被爆者の人形を
 みてきれいすぎると言っていて「ぼくには
 人形も形がやばいように見えたけど
 本場の被爆者はもっとやばいんだろ
 うな」と思ったし、被爆者のひふはもうま
 黒でトラックにひきあげようとしてもひふが
 とれてひきあげられないくらいかかろうと思



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の特別授業を受講して、原爆のおそろしさが改めてわかりました。

特に原爆の^日爆発の音は、特に恐怖を感じました。

原爆^日たった1つで地面が灰になり、鉄までも溶けてしまう高熱。そんなことがもう一度起きてはたら、ひとたまりもないと思いました。

太陽もうやまわる原爆の温度が広島、長崎に落ちたのは、とても悲しいです。

これから二度とこんなことが起こさないように、今は憲法、法律があつてさだめられています。

私も、このようなことが起こらないようにこの思いを忘れずに過ごしていきたいと思いました。

原爆先生の話を聞いて、なぜ海外の人々は戦争を起こすのかと考えていました。現在もロシアとウクライナの戦いが続いています。戦争をするのはその相手が「痛い」からなのか、ただ「やりた」いからなのか。

池田義三さんが平和記念資料館で「きこいすぎる」と小さな声で言ったのがとても心に残っています。

戦争も原爆も絶対に起こしてはいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

/

原子爆弾は恐ろしい爆弾のようなもの、何人も犠牲者が出た。私が今まで知っていたのは、それくらいでした。でも今日特別授業を受講して、原爆に対して思うことが大きく変わりました。「きらいすぎる」。やっぱり、実体験者にしかわからないことがあるのだと思います。でも広島で、その時の様子や、たくさんの犠牲者を目の当たりにした「義三さん」の臨場感あるお話を聞いて、言葉では現せない程の恐怖のほんの一部だけでも感じ取れたと思います。直接的な死者ももちろんそうですが、原爆症の方もせっかく助かったのに病気がかかっていた、医師に診断してもらえない、切り切れなことも辛かったと思います。今日本には戦争がありません。でも、世界には戦争している国はあります。核の抑止力によって、絶対安全だと漠然と認めている人も思っています。7000度の少年。小型の原子爆弾が、こんなにもたくさんの犠牲者を出したんだと思うと、改めて恐しくなりました。絶対に同じことを繰り返さない、私たちの世代でも軽いでいきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

この前は、貴重な原子爆弾について教えてくださって、ありがとうございました。僕は、この原子爆弾の話聞いて、これからは、絶対に戦争を起さしてはいけないんだなということを強く実感しました。原子爆弾にあっつてしま、た被爆者は、とても残酷な一生を終えてしま、たと思、いました。僕が、今ここで、この時代に生まれてきたことを、すごく感謝身付しています。今、世界では、戦争をしている国もあるけれども、その国も、昔の日本のように、苦しいんだな、ということも、思っています。だから、これからは、日本も、他の国も、戦争をしないように、導けたらいいな、と思っています。

これからの時代は、核兵器が0で、戦争も0になれるように、がんば、っていき、うと思、いました。今回、原子爆弾の恐ろしい話を聞かせてもら、うて、ありがとうございました。改めて、原子爆弾の恐ろしさを実感しました。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/3

授業を受講して、改めて原爆のおそろしさに気付くことができました。たった一発の原爆が、いっしょんにして人々の命をうばってしまったということに、とても驚きました。7000℃という、太陽の表面温度より高くなった原爆の力は、ものすごいものなんだと感じました。真下にあった、現在の原爆ドームの姿を見ていると、そのことがよく分かります。原爆に苦しめられているのは、その当時だけではないということも知りました。原爆の放射能によって、無傷であった人も、投下後に広島に入っていた人も、その後原爆症で苦しめられ、それによって、亡くなってしまっているというのは、しょうげき的なことでした。原爆によって亡くなった被爆者たちを焼いていく作業の話が、印象的でした。身元は分からず、身元を調べる間もなく、ただただ被爆者を焼いていく、ということから、どれだけその当時広島がひどい状況になっていたのか、考えさせられました。このような戦争は、日本では今は起きていません。でも、これからも起きないということとは、保障できないような状況です。私たちの世代になっても戦争が起らないようにしたいと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いてみて原爆で多勢の人が亡くなったことを知り、いくら戦争だからといえ、無関係な人々を核爆弾で殺すアメリカがとてもひどいと思いました。戦争といえ、もう少し他の方法で解決できたのではないかと思います。とてもこの授業で命の大切さを学びました。原爆先生のお父様の義三さんは、原爆を体験し思い出すのが辛いと思いますが、後世に原爆のことを伝えるために言ひたことがすばらしいと思いました。今外国では核爆弾を持っている国も多いたですが、二度とこのようなことを起こさぬために外国に核爆弾を使わせないようにしていかなければと考えさせられました。この特別授業を受けてみて原爆を自分も将来伝えていかなければならぬと思いました。今核爆による原爆症で苦しんでいる人が多いと思いましたが十年や百年たつと原爆を体験した人が亡くなってしまっても、原爆についての学びで二度とこのようなことを起こさぬように唯一の核爆国の日本が働きかけていかなければと思いました。最後はこのように授業をしていただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の恐しさを知れました。また、原爆とは、たくさん人の尊い命を奪ってしまうようなものでさらに、それは原爆が広島や長崎に落とされたときだけでなく、そのあとも、原爆症というような病が流行り、たくさん人の命を奪い、今でも苦しんでいる人がいるような怖いものだと知り、今後絶対に使ってはいけないと感じました。しかし、原爆を今、ロシアが使いましたあの悲惨なことが起こりそうになっています。なので、今からでも、唯一の被爆国として、世界に、原爆の恐しさを伝えていきたいと思いました。また、原爆が落とされた広島には負の遺産として、原爆ドームや広島平和記念資料館が長崎には、平和祈念像や長崎原爆資料館があり、日本を最初で最後の被爆国になるようにしていることが分かりました。地球が戦争のない世界になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12 / 15

私はこの特別授業を受けて、自分は幸福なのだと改めて実感しました。原爆によって多くの人が死に、その爆発をまぬがれたとしても原爆症で多くの人が苦しめられていない中、自分は不自由などない一っないという状態にすることがどれだけ幸福なのか再確認することができて良い機会でした。また、今現在は戦争は日本で行われていないが、昔は義三きんを含む多くの人たちが国のために命をつくしていたのに、もかかわらず、たった二発の爆弾によって一瞬にして死んでしまいました。多くの方々をいとも簡単に遊びのような感覚で殺す原爆はこの世にはあってはいけない物だと分かった。さらに、この授業で私は命の大切についても学ぶことができた。私はこの原爆で多くの人が死んでしまいましたが、現在には原爆などは落とされてはいない。しかし、それにもかかわらず、多くの人は死に続いている。その原因は人が争い、命をうばうからだ、と分かった。涙を自分は流して

こうと思います。ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

日本が世界で唯一の被爆国ということは知識として知っていましたが、今回先生のお話を聞いてそんな簡単な言葉であらわしてはならないような、とても悲惨なことだったのだということを知りました。たった一つの原爆でとても多くの人の命が一瞬でうばわれたのだと思うと、なにも罪がない人々がなぜ殺されなければならなかったのかとても不思議です。私の曾祖母も数年前亡くな.てしまいましたが、戦争中は広島に住んでいたということと祖父から聞いたことがあります。原爆がおとされた日、曾祖母はたまたま県外に出かけていて被害を受けなかったそうです。義三さんがドラム缶があったことで助かったように、曾祖母もその偶然のような奇跡によって助かったのだと思います。お話を聞いていて胸が熱くなりました。奈良県やその他候補だった都市に住んでいた人々や、私の曾祖母や義三さんなど生き残ることができた人々は「自分が死ぬかもしれなかった」という状況を知ることになったのだと思うと考えると言葉であらわすのが難しい変な気分になります。最後に、私がいま平和な日本という国で生きることができているということがどれだけ幸せかということを実感することができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業について教えてもらい、広島と長崎でどのようなことが起きているのかを初めて知って、原爆の恐しさを知りました。その原爆の温度が鉄を溶かしてしまうほどで、衝撃波の速さや音速などがすごく速くて、太陽の6000℃をこえていてすごくおどろきました。そして、被爆のえいさようで、原爆症になってしまうことも怖いと思いました。原爆先生が口で表現をしているのだけでも、怖いのに、それが本当にあった音の方がすごく怖いと知りました。原爆先生の授業での、命の大切さを知ることが出来て、助けることの出来る命を助けていけるようにしたいです。また、助けられない命もあり、それを少しでも助けられるようにしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業を受けて核兵器
 というのはとても危なく、多くの人の命をうば
 うという絶対には扱ってはいけないものであ
 るということが分かりました。残念ながら
 北朝鮮、インド、パキスタンといった国が核兵器
 を使っています。日本はいまのところ核兵
 器を使いません。でも、この先核兵器
 を日本が使うか使わないかは自分達の今後
 の未来にかかっていると思えました。なぜなら
 今後政治のあり方を決める主権を持っているの
 はほとんど国民だからです。また、今はウクライナ
 侵攻でロシアが武力を利用しているという、プー
 チンの独裁政治により核兵器を利用し
 ています。このウクライナ侵攻を止めよ、あきらめるとい
 った行動を起こすのも自分達であると思っ
 たら、核保有国、アメリカ、フランス、ロシア、中国、イ
 ス라엘、その他で核を使っているイスラエルなどを止めるの
 も自分達だと思ひ、改めて核兵器は絶対
 に扱ってはいけないものだと理解しました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私はこの特別授業を通し、自分は歴史が得意で不得意だった気がしました。また私がこの授業で一番強く感じたことは教科書の内容や社会の授業の適当さです。教科書には1945年8月6日広島原爆としか書かれておらず、ただ説明には多くの人がたくさんいましたとしか書かれていません。日本は本当に反省しているのでしょうか。戦争を二度くりかえさないということを本当に感じているのでしょうか。よから先生の授業は「特別」授業ではなく、日本人が受ける最低限度の授業なはずです。日本がこのように適当だからこそ、池田先生のような方が特別授業をしただけにはならないのです。私は先生の話を原爆の全てを知りたいとは思っていません。太平洋戦争だけでなく一次大戦、日清戦争、日露戦争、支那の乱も争いです。今は平和です。だから今の授業は戦争の残酷と悲惨が際立つような授業は戦争はクズです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生のお話を聞いて、原爆の恐しさを
知ることができました。今まで、私は原爆はもう自
分には関係ないと思っていました。でも、先生のお話
を聞き、この原爆は未来の人たちにも、二度とこのよ
うなことをおこしてはいけないと伝えていくべき
だと思いました。今回、お話をしていた義三さん
を含めた8人の2班がいきなりの大きな音でおど
ろき、不思議な空につつまれ、たいん怖いをした
ことがわかりました。でも、爆心地の近くにいた
人たちは、もと怖い目にあつたことを想像する
とぞつとしました。高温の熱線をあび、皮膚が
ただれた状態の人々が兵隊に対して必死に助け
を求めている姿を想像し、とても悲しい気持ちにな
りました。兵隊さんたちが助けようと思い、手をさしの
ぐ、助けられなかった兵隊さんたちは悲しい気持ち
でいっぱいだったと思います。助けられる命を少し
でも多くするために、私はこの原爆の恐しさを
未来の子どもたちに伝えていきたいと思
います。